## 会议纪要

会议名称: 阙教授研究生团队周一例会

纪要编号: 18-05-21

时间	2018年 5月21日	地点	4421 办公室
主持人	阙泽利		
参与人员	陈秋韵,蔡为圳,常程,陈炼,姚孜银,王昕萌,侯同宇,刘义凡,张柳柳		
会议主题	√工作室事务安排与总结 √团队思想建设		
会议内容	→ <b>工作室事务安排与总结</b> 1.总结京都、广岛大学代表团的接待工作,阙老师和同学们共同剖析了团队存在的问题; 2.研究生论文送审情况,请相关人员根据已返回的修改意见进行修改; 3.小松老师预计6月3日返校,要求各位同学提前打扫好房间; 4.研一工作计划,王昕萌、姚孜银下个月准备开题,应提前做好相应准备; 5.郑州调研报告尽快根据修改意见进行修改; 6.工作室网站建设及时跟进,6月1日正式对外开放; 7.六月份 APA 协会来访工作室,并进行课题最终验收,具体情况找时间进行协商; 8.由于学校双一流建设,拟修改工作室条例; 9.七月份 CADwork 培训工作将继续开展,相关人员做好充分准备; 二、团队思想建设  本次四位教授来访促进了中日友好合作与学术交流,在教授们的身上我们也看到自己的不足,我们应该加强自己的团队意识、培养工作室的凝聚力、意识到学习的重要性、基本素质的培养、做事的态度(有始有终)等等。		

## 附件一: 教授们的邮件

Safe back	帰国の連絡		
今天 晚上9:50	今天 晚上9:02		
Dear Prof. Que (cc all)	闕先生		
We safely arrived at Japan now. I really appreciate	森です。 帰国して、家につきました。		
our kind nospitality. As I said yesterday, this is the starting	今回は、貴重な経験ができました。 本当に、ありがとうございました。		
point of our collaboration. Please keep in touch.	関さんの言われたようにこれがスタートとして、 これから、いろいろできればと思います。		
am going to make opportunities to invite you to Japan in the near future. I hope JSPS project will be successful.	また、学生さんに、最後まで付き合ってもらいました。 本当によく気が利く学生さんで、 良い指導をされているなと思いました。 私も負けないように頑張っていきたいと思います。		
Sincerely yours,	これからもよろしくお願いします。		
Hiro,			
- 五十田博 京都大学生存圏研究所教授	Takuro MORI(森 拓郎) Associate Professor		
	Structural Mechanics of Building		

☆ Akihisa Kitamori ∨ To: Isoda, Hiroshi, zelique@njfu.edu.cn: - Cc: 森先生@

## Dear Que-sensei,

I was also safely back to home <u>yesterday</u> at almost midnight. Coupled with the kind hospitality of you and your students, I enjoyed it very much through the tour.

I would like to express a deep appreciation. Please tell my thanks to your team as well.

Kind regards,

Kitamori

备注:本资料仅供工作室内部参考,请妥善保管。

记录人员: 刘义凡